

思いやりとありがとうの心で

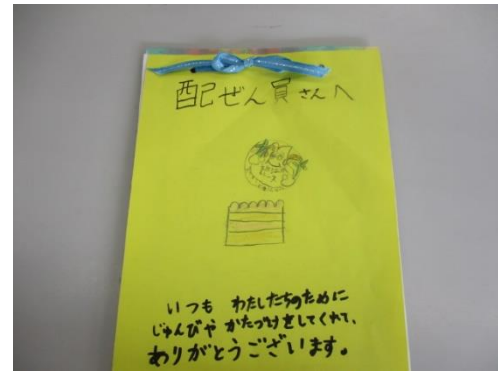
草津市立草津第二小学校 道徳・人権通信

令和5年2月3日 NO.7



～1月23日から27日は草津市学校給食感謝週間～

各学年で給食に関わる人々の様子や、野菜など食材の生産のこと、また給食の歴史などを学びました。多くの子どもたちが配膳室で「ありがとうございます。ごちそうさまでした！」と感謝の気持ちを伝えていました。いつもしてもらっていることに対して改めて感謝の気持ちに気づける給食週間になったのではないかと感じています。雨の日も風の日も、そして先日のような大雪の日も、給食を調理し、トラックで学校まで運んで、そして配膳までと、多くの方のおかげでおいしい給食をいただけています。いつまでも「感謝」の気持ちを持ち続けていきたいですね。



～1月のフレンズデー テーマ「みんなでクラスのことを考えよう～

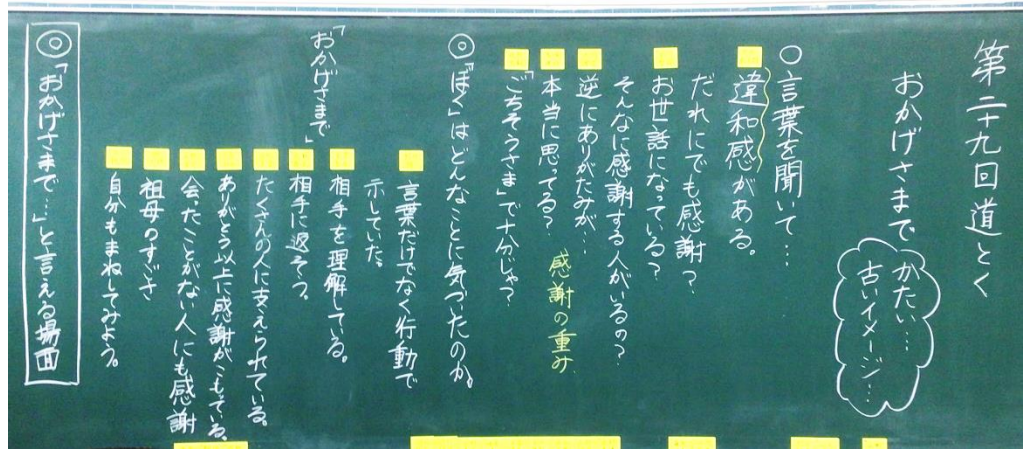
学年の始めに決めた各クラスの「安心ルール」について、これまでがんばってきたことを確かめ、新学年に向けてこれから大切にしたいことを下記のキーワードをもとに話し合いました。

あいさつ **おもいやり** **感謝** **ルールを守る** **(その他考えたこと)**

- **あいさつ** をされると、何となく気持ちがいいです。自分からするのがはずかしいと感じる時がありました。でも、これからは元気なあいさつをしていきたいです。
- **思いやり** を感じると大切にされているなど思う。自分も、思いやりを大切にしていきたいです。
- **感謝** することはとても大切だと思いました。いつもしてもらっていることでも、感謝の気持ちを伝えていきたいと思いました。
- もうすぐ6年生も卒業してしまいます。行事や分団で支えてくれた6年生に**感謝**を伝えたいです。
- **ルールを守る** ことは、たくさんの人が生活する学校ではとても大切なことだと思います。
- 友だちの意見を聞いて「よく考えているな。」と思った。友だちの意見を聞くことはとても大切だと思った。

道徳の学習から

6年生 「おかげさまで」



「ぼく」の祖母は口癖のように「おかげさまで」と言います。最初はこの口癖を批判的に考えていた「ぼく」ですが、自分の生活は、目に見える物に限らず、多くの人々の力によって支えられていることに感謝し、「おかげさまで」と言っている祖母の思いを知ります。

1月末の「給食感謝週間」とも関連させて、いろいろな人たちのおかげで毎日過ごせていることのありがたさについて深く考えました。

<子どもたちのふり返し>

- ・毎日会う家族以外にも支えてくれる人がたくさんいることが分かった。
- ・自分も「おかげさまで」という気持ちを言葉や行動に表したい。

3年生 「たっきゅうは4人まで」



主人公「しゅん」たちは、遊ぼうと言ってきた友だちの誘いを「卓球は四人までだから」と言って、断りました。しかし、断った友だちに昨日優しくしてもらったことを思い出し、気になったため、遊ぼうと誘いに行きましたが、「4人までなんだろう」と断られてしまいます。その後、4人でやった卓球は楽しくありませんでした。この話から、友だちを大切にできないときの後ろめたさについて考え、友だちと仲よくするためにどんなことに気をつけるか考えました。

<子どもたちのふり返し>

- ・断られた友だちはどんな気持ちになるか考えることが大事だと思った。
- ・意地悪なことを言わず、みんなで楽しくできることを考えたい。